

## 未来を担う子ども達をはぐくむまちづくり



公明党議員団  
三宅 智加子 議員

### 目指す都市像実現のための 新年度予算編成方針

**問** 令和5年度予算編成方針について聞きたい。

**答** 災害に強いまちづくり、新型コロナウイルス感染症対策及び地域経済の活性化を引き続き重点事項とし、市長公約である三つのまちづくりに取り組み、第6次総合計画の実現に向け各施策を推進する。

また、国の重点投資分野であるDX推進やゼロカーボンの実現に向けた取組を進める。

予算編成に当たっては、事業の選択と集中を図るとともに、国や県の財政支援も最大限活用しながら取り組む。

### 少子化と人口減少の克服

**問** 公明党は、11月8日に子ども政策を政治の柱に据えた社会の実現と、少子化・人口減少を克服するための具体策を示した子育て応援トータルプランを発表した。

コロナ禍で少子化と人口減少が一層進み、2021年の出生数は過去最少を記録し、想定より7年早く少子化が進んで

いる。子どもを中心とした政策の必要性について見解を聞きたい。

**答** 本市が重点的に取り組むまちづくりの柱として、子育て世代に

魅力的なまちづくりを掲げている。国が、こども家庭庁の設置やこども基本法の施行を予定する中、本市は現在取り組んでいる施策の充実・強化を図ることで子育て支援をさらに進め、子育て世代に魅力的なまちづくりを実現する。



赤ちゃん広場(大牟田市保健センター(らふる))

**問** 出産・子育て応援交付金の実施に伴う補正予算が追加提案された。その取組内容について聞きたい。

**答** 妊娠届出時より、妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添う伴走型相談支援と、妊婦等に対する経済的支援を一体とした出産・子育て応援交付金が国により創設された。安心して出産・子育てができる環境整備を図るため、本市も速やかな経済的支援を行う。

**再発言** 今回、現金給付での支援をされるが、確実に子ども達の支援につながるクーポン券での対応を検討されたい。

### 防災・減災のまちづくり

**問** 排水対策基本計画策定に当たり、市民の意見がどう生かされたのか聞きたい。

**答** コンピューター上でのシミュレーションに加えて、現地踏査による浸水状況確認時の市民からの様々な意見によって、浸水状況や弱点要因を正確に整理できた。

**再発言** 20年という長い計画であるため、丁寧な周知を行われたい。また、特に被害が大きい地域に対しても、丁寧な対応を実施されたい。

### 未来を担う子ども達をはぐくむまちづくり (不登校対策)

**問** 2017年に施行された教育機会確保法では、不登校の児童生徒の休養の必要性を認め、学校以外での学習を国や自治体が支援すると明記している。

多様な学びの場の確保や不登校特例校についての見解を聞きたい。

**答** 多様な学びの場として、適応指導教室である昭和教室や民間のカウンセリングルーム及びフリースクールがある。

また、橘中学校では、学生ボランティアによる対面の学習支援や相談を行っている。

**再発言** 学校再編が進む中で使用されなくなる学校の活用も考えられる。大牟田市で育つ子ども達の多様な学びを支援するため、不登校特例校など、新たな学びの場の設置を検討することを強く要望する。